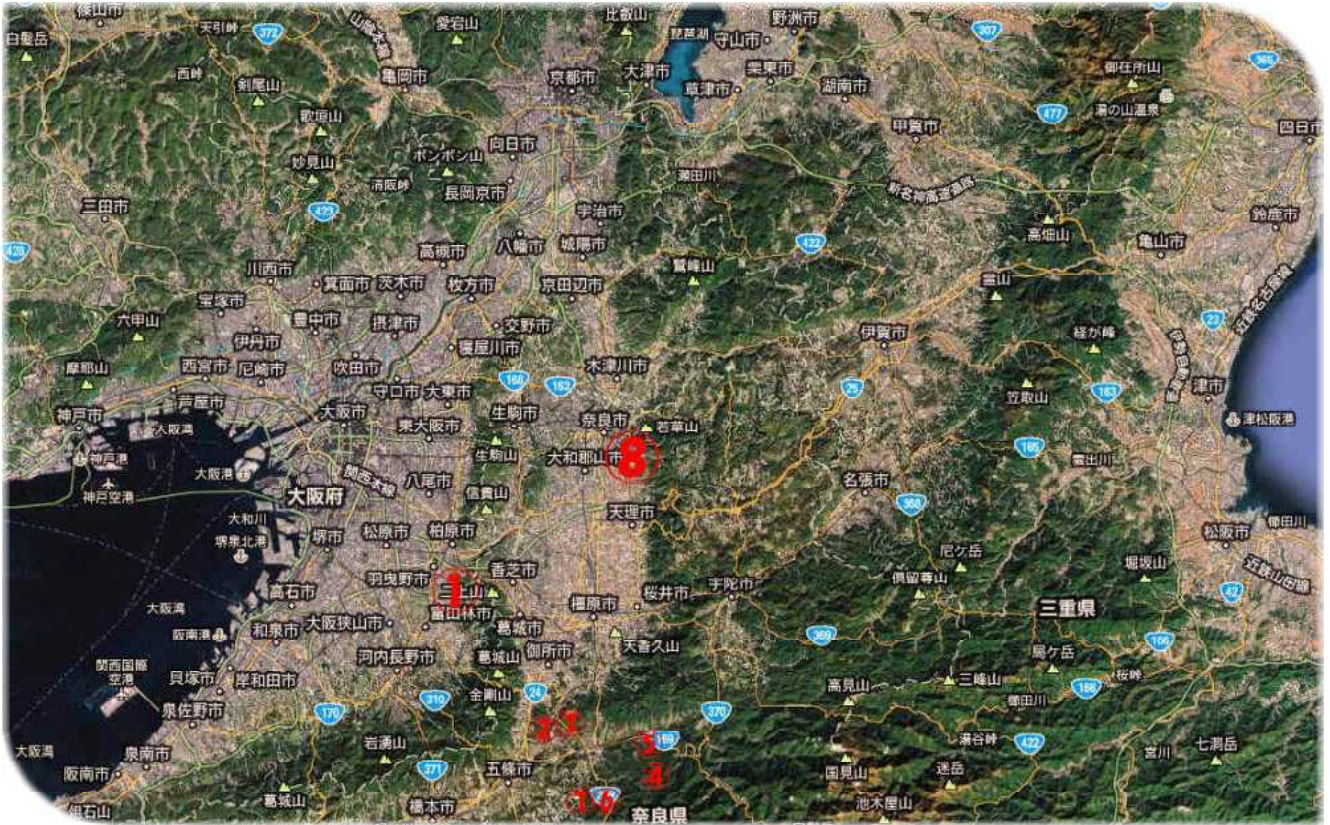


正尊寺仏教壮年会研修旅行

～ 聖徳太子にはじまった日本仏教の成熟を吉野を訪ねる～



日程表 平成23年7月10日(日)～11日(月)

【第1日目】

正尊寺(7:00出発) → 名神・近畿・西名阪 →

①磯長:叡福寺(聖徳太子のお墓) → 昼食 → ②丹生谷:因光寺 →
③鋒立:光蓮寺 → ④吉野山(湯元 宝の屋 泊)

【第2日目】

ホテル出発 → ⑤飯具:本善寺 → ⑥立興寺(唯円房のお墓) →
⑦下市御坊:願行寺 → ⑧奈良公園:東大寺 → 関ヶ原IC → 正尊寺

○磯長御廟 叡福寺 (しながびょう えいふくじ)

南河内郡太子町 0721-98-0019



聖徳太子は推古天皇の摂政として、十七条憲法や冠位十二階の制定、遣隋使の派遣などの進んだ政治制度や文化を取り入れ、政治改革を図られました。仏教精神を政治理念とされ、親鸞さまは和国の教主と尊敬されました。推古29年（621）に亡くなり、磯長の地に葬られ、太子墓は径50メートル、高さ10メートルほどの円墳で、内部は精巧な切石を用いた横穴式石室です。太子と母君あなの穴穂部間人皇后、妃の膳郎女かしかでのいらつめの3人の棺が納められていると伝えられることから、三骨一廟と呼ばれています。

墳墓を守る叡福寺は推古天皇によって建立され、奈良時代に聖武天皇が大伽藍を整備したと伝えられ、聖徳太子信仰の霊場として発展しました。織田信長の兵火によって、一時は全山が焼失しましたが、豊臣秀頼の聖霊殿再建に始まり、順次伽藍が再興されました。



◎大和の清九郎 (せいくろう)



清九郎さんは、延宝6年(1678)高取町丹生谷に生まれ、貧困の極みの中で、青年期は酒に博打にケンカにというならず者であったが、改心後は親孝行に努められた。

改心し仏法聴聞のきっかけとなったのは妻に先立たれたことで、ウグイスの「ホーホケキョ」も「法を聞けよ」と聞こえると喜んで念仏する妙好人となっていていかれた。

本山参りは欠かさず、母親背負って京都まで足を運ぶ話が、高取城主の耳に届き褒美(香炉)も貰うほど有名な孝行者となった。私財は惜しみ無く貧しい人に施し、泥棒の脅しにまでアミダ様のお慈悲を感じ身ぐるみ剥がれることを喜んだという逸話が残っています。毎年、ご本山のお仏飯を炊く薪なのだからと、一本一本よく洗って乾かし、粗末にせずには挿んで担ぎ、本山まで運びその姿が銅像にもなっています。寛延3年(1750)72歳往生し、お墓は大淀と高取の境の当たる山中に残っていて、鉾立地区の篤信な門徒によってまもられています。



○因光寺 (いんこうじ) 高取町丹生谷 TEL07456-7-0787 北村総代:090-8883-8382



清九郎の師匠寺因光寺は大谷派で現在無住であるが、近在の総代さんたちが管理をしてみえます。境内には遺品を所蔵した清九郎会館や清九郎の薪担ぎの像があり、裏山には分骨した骨が埋められたお墓もあります。

○光蓮寺 (こうれんじ)

大淀町銚立 【中本世話係0745-67-1850】



大淀町銚立地区は清九郎さんが町を逃れ暮らした場所で、現在7戸の集落がひっそり暮らす大淀と高取の村境の山村です。



光蓮寺は大谷派の無住寺院です

が、大岩西照寺の荒木住職(0745-67-0403)が代務でお世話しておられます。

◎吉野山『瀧宝の家』 吉野山中千本公園 TEL 0746-32-5121

役行者の開山以来、1300年の歴史を持つ修験道の聖地「吉野・大峯」は、2004年、日本で12番目の世界遺産に登録されました。特に吉野山は古来より日本一の桜の名所として名高く、京の都の皇族や貴族が御嶽詣（みたけもいで：当時山上が岳は御嶽とも呼ばれた）を盛んに行う中で、その入口として重要視され、数多くの寺院が建立され隆盛を極めました。

○本善寺 (ほんぜんじ)

吉野町大字飯貝 TEL 0746-32-2675



文明7年(1475)吉崎御坊を離れた蓮如上人は摂津から大和にはいられ、吉野布教の拠点とされたのが本善寺の前身です。明応4年(1495)蓮如上人13男の実孝が伽藍を整備し本善寺の開基となって教線が拡大して、大いに栄え門前町も形成されていきました。織田信長によって伽藍のほとんどが破壊されましたが、江戸中期になって再興され、蓮如上人子々孫々の寺（御連枝）として「飯貝御坊」とよばれ大和の崇敬寺院の位置を確保しています。

藍のほとんどが破壊されましたが、江戸中期になって再興され、蓮如上人子々孫々の寺（御連枝）として「飯貝御坊」とよばれ大和の崇敬寺院の位置を確保しています。

○立興寺 (りゅうこうじ)

吉野郡下市町 大字下市465 TEL 0747-52-3541



親鸞聖人晩年の直弟子で歎異抄を書いた唯円大徳【貞応元年(1222)～ 正応二年二月六日(1289)】が草創したお寺でお墓があります。唯円房は常陸(茨城)河和田の生まれで、京都で親鸞聖人から教えを受けて、関東で布教をされたが晩年奈良吉野を拠点に布教され68歳で亡くなられた。

○願行寺 (がんぎょうじ)

吉野郡下市町下市2952 TEL 0747-52-2344



もとは秋野坊舎といい、応仁2年(1468年)に本願寺第八世蓮如上人が吉野の要地伝道の本拠として開基されたと伝えられています。往時は、本願寺門跡正院家ならびに中本山として、大和・近江・摂津に70以上の末寺を持ち、吉野83ヶ寺をまとめ「下市御坊」とよばれてきました。

参加者名簿

		氏名	電話	携帯電話	部屋
住職	1	杉山雲来			
	2	杉山勝代			
	3	坂井とも子			
	4	青木節子			
	5	林 多恵子			
	6	杉山糸江			
	7	後藤節子			
	8	青山清美			
	9	青山光雄			
	10	三山 穰			
	11	杉山 隆			
	12	高橋 昇			
	13	横山栄一			
	14	林 登			
	15	山岡敏郎			
	16	杉山房一			
	17	高橋和義			
	18	山川 明			
	19	市川正規			
	20	福田勇一			
	21	小川賢司			
	22	高井輝男			
	23	桑原昌孝			